

【令和2年度（案）】

令和2年度（2020年度） 公共事業施工地区（公共事業再評価地区）一覧表

上段：当初計画又は直近評価
下段：再評価（当該年度〇月末現在）

(様式1)

整理番号	所管部	事業種別	調書番号	(ふりがな)地区名	市町村名	事業経過			前回評価年度	主な工種	総事業費(百万円)	事業費(百万円)				再評価対象区分
						事業採択	着手	完了予定				当該年度事業費	左記のうち道費	累計事業費	進捗率(%)	
1											-	-	-	-		
2											-	-	-	-		
3											-	-	-	-		
4											-	-	-	-		
5											-	-	-	-		
6											-	-	-	-		
7											-	-	-	-		
8											-	-	-	-		
9											-	-	-	-		
10											-	-	-	-		

※「事業経過」の「着手」欄について、建設部所管事業にあっては「着工」と読み替えてください。

※「事業経過」欄の各年度は、上段に和暦（昭和はS、平成はH、令和はR）、下段にカッコ書きの西暦を半角数字で記入してください。

※「前回評価年度」欄には、前回の事前評価又は再評価の実施方針の年度を「事業経過」欄と同様に記入し、いずれも実施していない場合は「-」を記入してください。

※「再評価対象区分」欄には、実施方針の3(1)の場合に半角「1-#」（#はア~オ又は(1)のうち該当する項目）、同(2)の場合に半角数字「2」、同(3)の場合に半角数字「3」を記入してください。（該当するものを全てを記入してください。）

【令和元年度】

上段：当初計画又は直近評価
下段：再評価（R1.〇月末現在）

令和元年度 公共事業施工地区（公共事業再評価地区）一覧表

（様式1）

整理番号	所管部	事業種別	調査番号	(ふりがな) 地区名	市町村名	事業経過				主な工種	総事業費 (百万円)	事業費(百万円)				再評価 対象区 分
						事業 採択	着工 年度	完了 予定	経過 年数			R1年度 事業費	左記のうち道費	累計事業費	進捗率(%)	
1											-	-	-			
2											-	-	-			
3											-	-	-			
4											-	-	-			
5											-	-	-			
6											-	-	-			
7											-	-	-			
8											-	-	-			
9											-	-	-			
10											-	-	-			

※「評価対象区分」欄には、半角数字「1」（国の要件等に該当）、半角数字「2」（大幅な変更が発生）、半角数字「3」（その他必要）を記入してください。

※「事業経過」欄における年度の記入は暦年とし、半角数字（各年度には、昭和はS、平成はH、令和はR）を記入してください。

【令和2年度（案）】

令和2年度（2020年度） 公共事業施工地区（公共事業再評価地区）一覧表 【記載例】

上段：当初計画又は直近評価
下段：再評価（当該年度7月末現在）

（様式1）

整理番号	所管部	事業種別	調書番号	(ふりがな)地区名	市町村名	事業経過			前回評価年度	主な工種	総事業費(百万円)	事業費(百万円)				再評価対象区分
						事業採択	着手	完了予定				当該年度事業費	左記のうち道費	累計事業費	進捗率(%)	
1		2回目の再評価（実施方針3の(1)エに該当）のパターン				H22(2010)	H22(2010)	R2(2020)	H27(2015)		1,000	-	-	-	-	1-I
							H22(2010)	R5(2023)			1,050	150	90	750	71%	
2		事前評価を実施し、最初の再評価（実施方針3(1)イと(2)イに該当）のパターン				H27(2015)	H27(2015)	R4(2022)	H25(2013)		5,500	-	-	-	-	1-I 2
							H28(2016)	R8(2026)			9,300	800	320	2,100	23%	
3		事前評価未実施で実施方針3(2)ウに該当のパターン				H29(2017)	H29(2017)	R6(2024)	-		900	-	-	-	-	2
							H29(2017)	R8(2026)			2,000	50	12	700	35%	
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																

※「事業経過」の「着手」欄について、建設部所管事業にあっては「着工」と読み替えてください。

※「事業経過」欄の各年度は、上段に和暦（昭和はS、平成はH、令和はR）、下段にカッコ書きの西暦を半角数字で記入してください。

※「前回評価年度」欄には、前回の事前評価又は再評価の実施方針の年度を「事業経過」欄と同様に記入し、いずれも実施していない場合は「-」を記入してください。

※「再評価対象区分」欄には、実施方針の3(1)の場合に半角「1-#」（#はア～オ又は(1)のうち該当する項目）、同(2)の場合に半角数字「2」、同(3)の場合に半角数字「3」を記入してください。（該当するものを記入してください。）

【令和元年度】

(追 加)

【令和2年度（案）】

令和2年度（2020年度） 公共事業再評価総括表 （一次政策評価）

（様式2）

整理番号	所管部	事業種別	調査番号	(ふりがな) 地区名	市町村名	事業採択年度	完了予定年度	総事業費 (百万円)	当該年度 事業費 (百万円)	事業費 累計 (百万円)	進捗率 (%)	評価結果		摘要
												一次政策評価		
												方向性	摘要（変更内容等）	
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														

※「事業採択年度」及び「完了予定年度」の各欄は、上段に和暦（昭和はS、平成はH、令和はR）、下段にカッコ書きの西暦を半角数字で記入してください。

【令和元年度】

令和元年度公共事業再評価総括表 (一次政策評価)

(様式2)

整理番号	所管部	事業種別	調書番号	(ふりがな) 地区名	市町村名	事業着手年度	完了予定年度	総事業費 (百万円)	R1年度 事業費 (百万円)	事業費 累計 (百万円)	進捗率 (%)	評価結果		摘要
												一次政策評価		
												方向性	摘要(変更内容等)	
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														

※各年度の記入は暦年とし、半角数字(昭和はS、平成はH、令和はR)を記入してください。

【令和2年度（案）】

V 評価											
1. 必要性	<p>a：事業の必要性に変化はなく予定どおりの事業を推進する。 b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。</p> <p>c：着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。</p>										
2. 事業を推進する上での課題	<p>(1) 環境上の配慮及び課題</p> <p>(2) 事業推進に対する住民の動向</p> <p>(3) その他の課題</p>										
3. 事業達成の見込み	<p>a：現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。</p> <p>b：課題はあるものの達成は可能である。</p> <p>c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。</p>										
4. 対応方針	<p>a：継続 b：終了 c：休止 d：中止</p>										
VI 備考											
1. 評価履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業期間の変更の有無</th> <th>事業費の変更の有無</th> <th>事業内容変更の有無</th> <th>目的・規模等に係る変更</th> <th>左記以外の変更</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事業期間の変更の有無	事業費の変更の有無	事業内容変更の有無	目的・規模等に係る変更	左記以外の変更					
事業期間の変更の有無	事業費の変更の有無	事業内容変更の有無	目的・規模等に係る変更	左記以外の変更							
2. その他の取組事項											

補足資料

事業期間	再評価 又は当初	事業採択	重注	変更年度	完了予定	事業費			(単位：百万円)
						総事業費(a)	適負担額	当該年度事業費	
事業①									
事業②									
事業③									
事業④									
事業⑤									#DV/O!
事業⑥									
事業⑦									
事業⑧									
事業⑨									
事業⑩									
経過年数						2020			
変更理由・内容									

【令和元年度】

2.事業効果	経済効果の内訳 (百万円)		費用の内訳 (百万円)		B/C	備考
	項目	現在	項目	現在		
					/	
			合計 (C)			
	合計 (B)					
3.コスト縮減 などの取組	取組の内容					縮減額 (百万円)
V 評価						
1.必要性	<p>a : 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する b : 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である</p> <p>c : 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある</p>					
	(1) 環境上の配慮及び課題					
	(2) 事業推進に対する住民の動向					
	(3) その他の課題					
3.事業達成の 見込み	<p>a : 現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。</p> <p>b : 課題はあるものの達成は可能である</p> <p>c : 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される</p>					
4.対処方針	<p>a : 継続 b : 終了 c : 休止 d : 中止</p>					
	事業期間の変更の有無		事業費の変更の有無		事業内容変更の有無	
					目的・規模等に係る変更	
					左記以外の変更	
VI 備考						
1.評価履歴	事前評価 : 年度実施		評価結果 :			
	再評価 : 年度実施		評価結果 :			
2.その他の 取り組み事項						

【令和2年度（案）】

（2枚目に集約）

補足資料

II 計画変更

【令和元年度】

		(単位：百万円)					
事業期間	当初 変更① 変更② 変更③ 変更④	事業着手	建設着手	変更年度	完了予定	経過年数	事業費
		事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累積事業費(b)	進捗率(b)/(a)	
							#DIV/0!
変更理由・内容							

記載例 令和元年度 公共事業再評価調査

基準年月日 令和元年8月1日

Table with 2 rows: 調査番号 (00-00) and 作成責任者 (担当 〇〇課長 道行 太郎)

Table with 2 rows: 基本事項 (基幹日時点) and 地区名 (〇〇地区)

Table with 2 rows: 事業種別 (〇〇〇〇事業費) and 地区名 (〇〇地区)

Table with 2 rows: 事業費 (5,000) and 地区名 (〇〇地区)

Table with 2 rows: 事業概要 and 事業費内訳

Table with 2 rows: 事業目的・目標 and 事業内容

Table with 2 rows: 総合計画での位置付け and 施策目標

II 計画変更

Table with 2 rows: 事業着手建設費変更年度売上予定経過年数 and 事業費

変更理由・内容 and 事業着手前の状況

1 事業着手に至る経過と背景

2 事業検討の際の手續き

3 事業が効果を及ぼす地域・対象

4 関連する事業

IV 事業の実施状況

Table with 2 rows: (1) 事業計画及び実績 (変更) and (2) 進捗状況

1. 進捗状況

用地補償に伴う相続手続きに時間を要しているため、事業期間の変更を行った。...

a: 概ね予定どおり実施している b: 事業計画(期間)等を変更し実施する。 c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている

【令和元年度】

河川は修め必要区間に対する北海道自らの脆弱性の克服、...

前年度補正予算の繰り越し分、当年度執行については、当該年度事業費を含めた総額を [] 書きて記載。

(単位: 百万円)

Table with 2 rows: 事業費 and 総事業費(a)

変更①: H17年の集中豪雨により現河川堤防が決壊、...

- 2000年00月 浸水被害が発生 (床下浸水000戸、床下浸水000戸、...

- 〇〇地区と緊急医療施設(口病院)間の移動時間を短縮し、緊急医療を支援、...

工種区分毎の事業費を記載 (これまで執行した累計ではなく工種の事業費総計)

【令和2年度(案)】

V 評価	<p>●本事業は、〇〇市〇〇地区、〇〇町〇〇地区などの市街地及び農地の浸水被害を防止するためのもの。 ●事業着手後もH18年(2006年)10月(浸水面積2ha)、H19年(2007年)1月(浸水面積2ha)、H25年(2013年)9月(浸水面積5.0ha、家庭169戸)に浸水被害が発生 ●事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。</p>	<p>●事業は、〇〇市〇〇地区、〇〇町〇〇地区などの市街地及び農地の浸水被害を防止するためのもの。 ●事業着手後もH18年(2006年)10月(浸水面積2ha)、H19年(2007年)1月(浸水面積2ha)、H25年(2013年)9月(浸水面積5.0ha、家庭169戸)に浸水被害が発生 ●事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。</p>		
	<p>1. 必要性</p>	<p>a: 事業の必要性に変化はなく予定どりの事業を推進する。 b: 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c: 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。</p>		
	<p>(1) 環境上の配慮及び課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ● JR橋上流にある河道内干潟を極力保全するよう河道法線や築堤法線の設定をしている。 ● 親水性を向上させるため、河川敷地に余裕のある箇所は堤防法面を緩傾斜にする。 ● 市街地中心を流れる河川であり、活力ある水辺空間を創出するため、散策路の整備を行う。 ● 魚類などに配慮し、現況河床を極力保全している。(〇〇川) <p>※直近の評価以降の状況変化はない。</p>			
	<p>2. 事業を推進する上での課題</p> <p>過去に評価を終了した事業の場合は、評価実施後の状況変化の有無とその対応について記載</p>	<p>(2) 事業推進に対する住民の動向</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 〇〇川及び〇〇町から事業の早期完成に向けて毎年度要望が出されている。 		
	<p>3. 事業達成の見込み</p>	<p>(3) その他の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 特になし 		
	<p>事業期間が長期に及ぶものの、現状では事業進捗に大きな支障となるものではなく、事業は順調に進捗していく見込みである。</p>			
	<p>a</p> <p>a: 現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b: 課題はあるものの達成は可能である。 c: 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。</p>			
	<p>事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和27年度の完成を目指し、事業継続する。</p>			
	<p>a</p> <p>a: 継続 b: 終了 c: 休止 d: 中止</p>			
	<p>事業期間の変更の有無</p> <p>無</p>	<p>事業費の変更の有無</p> <p>有</p>	<p>事業内容変更の有無</p> <p>有</p>	<p>左記以外の変更</p> <p>無</p>
<p>VI 備考</p>				
	<p>事前評価: 平成26年度実施 再評価: 平成27年度実施</p> <p>評価結果: 要望を行うことは妥当 B/C=5.95 (※〇〇川) 評価結果: 継続 (変更なし) B/C=1.12 (※〇〇川)</p>			<p>付帯意見等、付された場合、件数と概要を記載</p>
	<p>「〇〇」について変更があった場合には専門委員会に報告すること。」とする付帯意見1件を専門委員会からいただいた。知事評価においても同様の趣旨の意見を付された。</p>			<p>専門委員会委員の提案等審議に必要と思われる事項を記載</p>
	<p>● 特になし</p>			

補足資料

再評価		事業要訳		進捗率(B)/(a)	
事業期間	事業要訳	変更年度	完了予定	総事業費(a)	進捗率(B)/(a)
H8(1996)	H8	H27(2015)	H27(2015)	31,336	10,445
変更① 1回目	H11(1999)	H22(2010)	H37(2025)	31,336	10,445
変更② 2回目	H11(1999)	H27(2015)	H57(2045)	31,336	10,445
変更③	H11(1999)	H28(2016)	H57(2045)	36,136	12,045
変更④ 3回目	H11(1999)	R2(2020)	R27(2045)	39,905	13,302
変更⑤				873	14,834
変更⑥					
変更⑦					
変更⑧					
変更⑨					
変更⑩					
<p>変更①: 事業期間の延伸 係船護岸の施工に当たり、工事箇所に係留中の船舶の係留場所が十分確保されないほか、今後予定している掘削工(浚渫)に当たっても、浚渫工に含まれる重金属に係る対策が必要となり加えて、これらの施工に当たり、不発弾の調査も要し、慎重に対応する必要のあることから、単年度の施工可能量に著しく制約を受けるため、事業期間を変更</p> <p>変更②: 事業期間の延伸 用地交渉に時間を要したほか、残事業の施工期間を精査したことによる事業期間の変更</p> <p>変更③: 事業費の変更 〇〇川工区の改修事業を追加したため</p> <p>変更④: 事業費の変更 地質調査の結果、樋門の液状化対策の検討が必要になったこと、資材及び労務単価の上昇のため</p>				<p>前年度補正予算の繰り越し、当年度執行分がある場合は、繰り越し分も含めて記載</p>	
<p>変更理由・内容</p>					<p>事前評価又は前回評価から今回の評価までに生じた理由・内容のほか、可能な範囲で、過年度評価の理由・内容を記載</p>

【令和元年度】

2.事業効果	経済効果の内訳(百万円)		費用の内訳(百万円)		B/C	備考
	項目	R1現在	項目	R1現在		
	〇〇改善効果	200	事業費	420	R1現在	・「〇〇費用便益マニキュアル(〇〇省H20年)」に基づき算出 ・便益、費用ともに〇〇元年に現在価値化 ・費用は、現在価値化及び50年間の維持管理費の計上により総事業費と異なる。
	〇〇向上効果	120	維持管理費	60		
	〇〇便益	100				
	〇〇防止効果	300				
	合計(B)	720	合計(C)	480	1.95	
	※B/Cに依らない場合や国などの費用便益マニキュアルによる便益以外の効果等がある場合は、必要に依り記載してください。					
	※B/Cが前回評価時から変更となる場合は、前回評価年度及びB/Cを記載し、変更理由を記載してください。 前回再評価年度 : H26年度 前回再評価時B/C : 2.2 変更理由 : 〇〇を見直したことにより事業費が増加のため					
3.コスト縮減などの取組	取組の項目	取組の内容	縮減額(百万円)			
	資源循環の促進	〇〇再利用によりコストを下げ、かつ産業廃棄物発生を抑制	50百万円			
	代議案の比較	計画構想段階で代議案(〇〇工法)を比較、再評価して現工法を採用。	200百万円			
	発注計画の最適化	早期発注及び適切な工期設定を行い、冬季割増し等のコスト増を抑制	20百万円			
	単価等精算の見直し	〇〇資材を標準タイプからロングタイプに見直し、コスト縮減	50百万円			

V 評価

H〇年度に都市計画審議会を開催。人口推計や都市施設整備構想について了解。事業の必要性に変化はなく事業を継続して推進。

●流域市街地の人口は、〇〇年の〇〇〇〇人から〇〇年には〇〇〇〇人にやや減少しているが、世帯数は、〇〇世帯から〇〇世帯とほぼ横ばいで推移している。また、汎濫予想区域内の農地面積は、〇〇年の〇〇haから〇〇年は〇〇haとほぼ横ばいであるが、当該地域は水稲や小麦の生産が盛んであり、近年は出荷額は〇〇(百万円)から〇〇(百万円)と増加傾向にあるなど、当該地域における事業の必要性に変化はない。

●汎濫予想区域内の建築物は、〇〇年の〇〇棟から〇〇年には〇〇棟とやや減少しているが、近年、福祉施設や保育所が建設されるなど、浸水被害防止の観点から当該事業の必要性に変化はない。

a a : 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する b : 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である
 c : 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある

(1) 環境上の配慮及び課題

● 〇〇地区に〇〇湖原(国立公園普通地域)が隣接。環境調査と専門家の意見を聴取し事業を実施。
 ● えそ〇〇草の生育地域に隣接。外来種の侵入を防ぐため、〇〇工法を採用しており、若干コストが増加。
 ※ 再評価(H〇〇〇年)以降、〇〇の環境問題が発生し、〇〇を実施して対処した。

(2) 事業推進に対する住民の動向

● 事業着手以降毎年、〇〇地区開発期成会を通じて整備促進の要望が行われている。
 ● 〇〇の住民説明会で提案された〇〇について取り組んだ。
 ● 〇〇の住民説明会から当該事業計画の部分的変更について検討しているとの情報有り。
 ※ 再評価(H〇〇〇年)以降の状況変化はない。
 ※ 再評価(H〇〇〇年)以降、〇〇の要望が新たに生じ、〇〇を実施して対処する予定。(今回の計画変更)に反映)

(3) その他の課題

● 道の〇〇促進計画に抵触し、〇〇を実施中。
 ● 〇〇の自然災害が発生し、一部被災を受けたため、事業進捗が〇年遅れる見込み
 ● 受益者の一部から当該事業計画の部分的変更について検討しているとの情報有り。
 ※ 再評価(H〇〇〇年)以降の新たな課題発生はない。
 ※ 再評価(H〇〇〇年)以降、〇〇施策が新たに策定され、〇〇を実施。

● 事業期間は長期化している(事業費が大きく増加している)ものの、用地補償に伴う手続きや詳細設計なども終了しており、現状では阻害要因はなく、今後の事業の実施にあたっては順調に進捗する見込み。
 ● 用地補償に伴う相続手続きに時間を要しているが、年内には手続き完了する予定。
 ● 関連事業の計画変更に伴い事業計画の変更区間が発生、変更に影響のない箇所工事を実施中。
 ● 前回評価と比較し資材単価や労務費が上昇しているため、今後の動向によっては事業費の増加が考えられる。
 ● 〇〇から〇〇区間の詳細設計は、今年度(〇〇年)実施する予定。

b a : 現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。
 b : 課題はあるものの達成は可能である
 c : 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される

〇〇〇〇と事業の必要性に変化はなく、〇〇については昨年度解決して事業推進上の課題は解消され、経済効果についても認められ、地元住民・自治体からの早期完成要望が強く、事業達成が十分に見込まれることから、平成25年度の完成を目指し、事業継続する。

4.対処方針

a	a : 継続	b : 終了	c : 休止	d : 中止
事業期間の変更の有無	有	有	有	有
事業費の変更の有無	有	有	有	有
事業内容変更の有無	有	有	有	有
目的・規模等に係る変更				左記以外の変更
				有

VI 備考

事前評価 : 年度実施 評価結果 : B/C :
 再評価 : 平成26年度実施 評価結果 : 継続(変更なし) B/C : 1.85

1.評価履歴
 専門委員会委員の提案等審議に必要と思われる事項を記載

「〇〇について変更があった場合には専門委員会に報告すること。」とする付帯意見を専門委員会からいただいた。知事評価においても同様の趣旨の意見を付された。

2.その他の取り組み事項
 ● 現地発生した玉石をアーチ状に配置し流路を整成。(〇〇専門委員のアドバイス)
 ● 水路の草刈りやゴミ拾いを、住民協働で実施。(〇〇地区連合町内会の協力)
 ● 自然災害の恐ろしさや備えの大切さについて、小学生を対象に講習会を開催(〇〇市教育委員会と連携)
 ● 〇〇地区の景観形成を支援するため道路法面に〇〇を植栽(植栽は〇〇地区町内会の協働で実施)
 ● 事業費負担割合のその他には、〇〇事業による負担分(〇%〇〇百万円)が含まれる。

【令和2年度（案）】

（2枚目に集約）

【令和元年度】

補足資料

II 計画変更 (単位: 百万円)

事業期間	事業着手建設着手		変更年度完了予定		経過年度数	事業費		道負担額	当該年度事業費	累積事業費(b)	進捗率(b)/(a)
	H16	H17	H16	H23		総事業費(a)	300				
当初				H23			75				
変更①			H16	H23			80				
変更②			H17	H25			80				
変更③			H18	R1			100				
変更④			H27	R3	15		125	50	300	60%	

変更理由・内容

変更①：事業費の精査による事業費変更。
 変更②：用地取得及び物件補償の難航による事業期間の延長。
 変更③：H18年の集中豪雨により現河川堤防が決壊。流下能力増加のため、河道掘削を追加。
 変更④：直轄灌漑排水事業計画の変更にともない、区画割を見直すとともに、新たな区画整理を追加。

【令和2年度（案）】

令和2年度（2020年度） 翌年度完了見込み地区一覧表

(様式4)

上段：当初計画又は直近評価

下段：当該年度〇月末現在

整理番号	所管部	事業種別	(ふりがな)地区名	市町村名	事業経過			前回評価年度	主な工種	総事業費(百万円)	事業費(百万円)				R3年度事業予定内容			備考
					事業採択	着手	完了予定				当該年度事業費	左記のうち道費	累計事業費	進捗率(%)	種別内訳	内容	事業費(百万円)	
1										-	-	-	-					
2										-	-	-	-					
3										-	-	-	-					
4										-	-	-	-					
5										-	-	-	-					

※「事業経過」及び「前回評価年度」の各欄は様式1と同様の方法により記入してください。

【令和元年度】

令和元年度 公共事業施工地区（翌年度完了予定の地区）一覧表

（細目様式2）

整理番号	所管部	事業種別	調書番号	(ふりがな) 地区名	市町村名	事業経過				主な工種	総事業費 (百万円)	事業費 (百万円)				R2年度事業予定内容			備考
						事業採択	着工年度	完了予定	経過年数			R1年度 事業費	左記のうち 道費	累計事業費	進捗率(%)	種別内訳	内容	事業費 (百万円)	
1																			
2																			
3																			
4																			

※「事業経過」欄における年度の記入は半角数字（各年度には、昭和はS、平成はH、令和はR）を記入してください。

【令和元年度】

令和元年度 公共事業施工地区（翌年度完了予定の地区）一覧表

記載例

（細目様式2）

整理番号	所管部	事業種別	調書番号	(ふりがな)地区名	市町村名	事業経過				主な工種	総事業費(百万円)	事業費(百万円)				R2年度事業予定内容			備考
						事業採択	着工年度	完了予定	経過年数			R1年度事業費	左記のうち道費	累計事業費	進捗率(%)	種別内訳	内容	事業費(百万円)	
1	A部			〇〇地区	××市	H25	H25	R2	5	〇〇工 □□工 ▲▲工 ●●工 測量試験費 用地補償費	2,000	300	150	1,800	90.0	本工事費	〇〇工 〇〇	160	
															測量設計費	◇◇	20		
															用地及び補償費	◆◆	20		
2																			
3																			
4																			

※「事業経過」欄における年度の記入は半角数字（各年度には、昭和はS、平成はH、令和はRを記載）を記入してください。

【令和2年度（案）】

事業費10億円以上増減地区一覧表

（令和2年度公共事業再評価における実施方針に基づく報告）

（様式6）

上段：当初計画又は直近評価

下段：再評価（当該年度〇月末現在）

整理番号	所管部 事業種別 地区名	調書番号	事業概要	事業費（百万円）		事業経過			前回 評価 年度	変更理由及び増減額の内訳	変更事案の発生と対応経過	備考
				総事業費	増減額	うち道費 負担額	事業 採択	着手				
1						0						
					0	0						
2						0						
					0	0						
3						0						
					0	0						
4						0						
					0	0						
5						0						
					0	0						

※様式1と共通する項目は様式1と整合を図って記入してください。

【令和元年度】

事業費に10億円以上の増減が生じた地区（既再評価実施地区を除く）

（細目様式1）

（令和 年度公共事業再評価実施細目に基づく報告）

（令和 年 月 日時点）
 上段：旧事業計画
 下段：新事業計画

所管部 事業名 地区名	事業概要	事業費（百万円）			事業期間			再評価		変更理由及び増減額の内訳	変更事案の発生と対応経過	備考
		総事業費	増減額	うち道費 負担額	事業 着手	建設 着手	完了 予定	実施 年	実施 予定			

※各年度の記入は暦年とし、半角数字（昭和はS、平成はH、令和はR）を記入してください。

【令和2年度（案）】

事業費10億円以上増減地区一覧表 【記載例】

（様式6）

（令和2年度公共事業再評価における実施方針に基づく報告）

上段：当初計画又は直近評価
下段：再評価（当該年度〇月末現在）

整理番号	所管部 事業種別 地区名	調書番号	事業概要	事業費（百万円）			事業経過			前回 評価 年度	変更理由及び増減額の内訳	変更事案の発生と対応経過	備考
				総事業費	増減額	うち道費 負担額	事業 採択	着手	完了 予定				
1	〇〇部 〇〇事業 〇〇地区	〇〇-〇〇	〇〇工 L=100m □□工 N=20箇所	2,800		700 (25%)	H17 (2005)	H17	H29	H27 (2015)	〇〇年（#####年）〇月に台風〇号が発生し〇〇施設が被災。災害復旧を行うとともに、〇〇施設を防護するため、新たに□□工5箇所（300百万円）、△△工 ^{※1} （700百万円）を追加する必要が生じた。	●R1年（2019年）9月 台風〇号による被災 現地調査・設計 ●R1年（2019年）10月 災害復旧申請 ^{※2} ●R1年（2019年）11月 □□工と△△工を追加	※1：〇〇に有効な代替案を3案検討し決定 ※2：〇〇災害法上の手続き
			〇〇工 L=100m □□工 N=25箇所 △△工 N=10箇所	4,100	1,300 (46%)	1,025 (25%)		H19	R7				
2	〇〇部 〇〇事業 〇〇地区	〇〇-〇〇	□□□ A=100ha △△△ L=1,500m	2,700		1,350 (50%)	H22 (2010)	H22	H30	H20 (2008)	●〇〇〇による□□□の増（1,200百万円） ●詳細設計の結果、〇〇〇による△△△の×××の変更（250百万円増） ●〇〇〇による△△△の増（350百万円増）	●H〇〇年〇月 受益者・地元関係機関への説明 □□□の面積増加 ●H〇〇年〇～〇月 〇〇〇調査の実施 〇〇〇により工法を×××に変更 ●H〇〇年〇～〇月 施設管理者との協議 〇〇〇により△△△の整備延長を追加	
			□□□ A=150ha △△△ L=3,000m	4,500	1,800 (67%)	2,250 (50%)		H22	R5				
						0							
						0							
						0							

【記載例】

●本様式の作成に当たっては以下の項目等の内容説明を記載。

- a 上下2段で当初計画又は直近評価時と再評価時の事業概要を比較。
- b 変更理由の説明を充実するとともに、事業費増減の内訳を明記。
- c 変更事案の発生と対応経過を時系列で整理。
- d 備考欄には、変更事案の補足説明を加える。

※様式1と共通する項目は様式1と整合を図って記入してください。

【令和元年度】

事業費に10億円以上の増減が生じた地区（既再評価実施地区を除く）

（令和元年度公共事業再評価実施細目に基づく報告）

記載例（細目様式1）

上段：旧事業計画
下段：新事業計画

所管部 事業名 地区名	事業概要	事業費（百万円）			事業期間			再評価		変更理由及び増減額の内訳	変更事案の発生と対応経過	備考
		総事業費	増減額	うち道費 負担額	事業 着手	建設 着手	完了 予定	実施 年	実施 予定			
A部 〇〇事業 〇〇地区	〇〇工 L=100m □□工 20箇所	3,500		1,750 (50%)	H17	H17	H28	H27	R2	H30年9月に台風21号が発生し〇〇施設が被災。その災害復旧を行うとともに、〇〇施設を防護するため、新たに□□工5箇所（300百万円増）と、△△工 ^{※2} を追加（700百万円増）する必要が生じた。	H30年9月：台風21号による被災 H30年9月：現地調査設計 H30年10月：災害復旧申請 ^{※1} H30年11月：□□工と△△工を追加	※1：〇〇災害法上の手続き ※2：〇〇に有効な代替案A案・B案を検討
	〇〇工 L=100m □□工 25箇所 △△工 10箇所	4,500	1,000 (29%)	2,250 (50%)	H17	H17	H36					
B部 〇〇事業 〇〇地区	〇〇工 L=200m 捨土 V=10,000m ³	3,500		1,750 (50%)	H17	H17	H28	H27	R2	<ul style="list-style-type: none"> ・H30年5月、施工中に想定と異なる地盤を確認。ボーリング調査の結果、想定した地盤より脆弱であることが判明。△△工を追加し〇〇の安定を図る。（400百万円増） ・H30年5月、掘削土砂から第二種特定有害物質（重金属）を検出。土砂を産業廃棄物処理する必要が生じた。（300百万円増） ・H30年6月、I区内にクマゲラ^{※4}の営巣が発生。保護のため一部ルートを変更（300百万円増） 	H30年5月：ボーリング調査 H30年6月：対策工法検討 H30年7月：経済比較し△△工を選択 ^{※1} H30年5月：掘削土砂の成分分析 H30年6月：土壌溶出量が基準超過 ^{※2} H30年6月：産業廃棄物処理開始 H30年6月：生物影響調査 H30年7月：第三者環境委員会 ^{※3} を開催し、営巣に与える影響を評価 H30年8月：一部ルート変更が必要と判断。営巣位置を迂回し延長50m増	※1：代替案A案・B案を検討 ※2：ヒ素0.1mg/Lを検出（>0.01mg/L） ※3：生物・環境に関する学識経験者で構成 ※4：絶滅危惧種
	〇〇工 L=250m △△工 A=100m ² 産業廃棄物処理V=10,000m ³	4,500	1,000 (29%)	2,250 (50%)	H17	H17	H35					
<p>【記載例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「事業費に10億円以上の増減が生じた地区報告様式」に以下の項目等の内容説明を記載。 <ol style="list-style-type: none"> 事業概要（上下2段で、旧事業計画と新事業計画を比較）。 変更理由説明を充実するとともに、事業費増減の内訳を明記。 変更事案の発生と対応経過を時系列整理。 備考欄には、変更事案の補足説明を加える。 												

※各年度の記入は暦年とし、半角数字（昭和はS、平成はH、令和はR）を記入してください。

【令和2年度（案）】

令和2年度（2020年度） 公共事業再評価総括表 （二次政策評価）

(別紙様式)

整理 番号	所管部	事業種別	調書番号	地区名	市町村名	事業概要等	事業 採択 年度	完了予定年度		総事業費 (当初)		総事業費 (変更)		評 価 結 果				摘 要
								当初	変更	(百万円)	うち 道負担額 (百万円)	(百万円)	うち 道負担額 (百万円)	一 次 政 策 評 価		二 次 政 策 評 価		
														対処 方針	摘要(変更内容等)	対処 方針	意見等	
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		

※各年度は、上段に和暦（昭和はS、平成はH、令和はR）、下段にカッコ書きの西暦を半角数字で記入してください。

【令和元年度】

令和元年度公共事業再評価総括表 (二次政策評価)

(別紙様式)

整理番号	所管部	事業種別	調書番号	地区名	市町村名	事業概要等	事業手続年度	完了予定年度		総事業費(当初)		総事業費(変更)		R1年度事業費(百万円)	事業費累計(百万円)	進捗率(%)	B/C	評価結果				摘要	
								当初	変更	(百万円)	うち道負担額(百万円)	(百万円)	うち道負担額(百万円)					一次政策評価		二次政策評価			
																		方針	摘要(変更内容等)	方針	意見等		
1																							
2																							
3																							
4																							
5																							
6																							
7																							
8																							
9																							
10																							